

探究Ⅰ ガイダンス

【担当教員紹介】

1－5 藤井先生（数） 石川先生（音）

1－6 大塩先生（数） 鋸屋先生（社）

1－7 吉村先生（社） 佐々木先生（英）

1－8 松村先生（社） 前田先生（国）

先生方より自己紹介

テーマ：今「探究」していることor自分が高校生であれば「探究」したいこと

本日のテーマ：

探究について探究する

～前提の問い直し～

「探究」って どんなイメージ？

- ①中学校での取り組み紹介
- ②率直なイメージ(感想)

1. 「探究」とは何だろうか？

「探求」と「探究」
って何が違うの？

1. 「探究」って何だろう？

▷ 「探」 = さがす

→ 課題を設定する

▷ 「求」 = もとめる

→ 既存の正しい答えを求める

1. 「探究」って何だろう？

▷ 「探」 = さがす

→ 課題を設定する

▷ 「究」 = きわめる

→ 情報を集めて、
設定した課題に対する
解決策を自分達で創造する

1. 「探究」って何だろう？

「探求」と「探究」って何が違うの？

「探求」

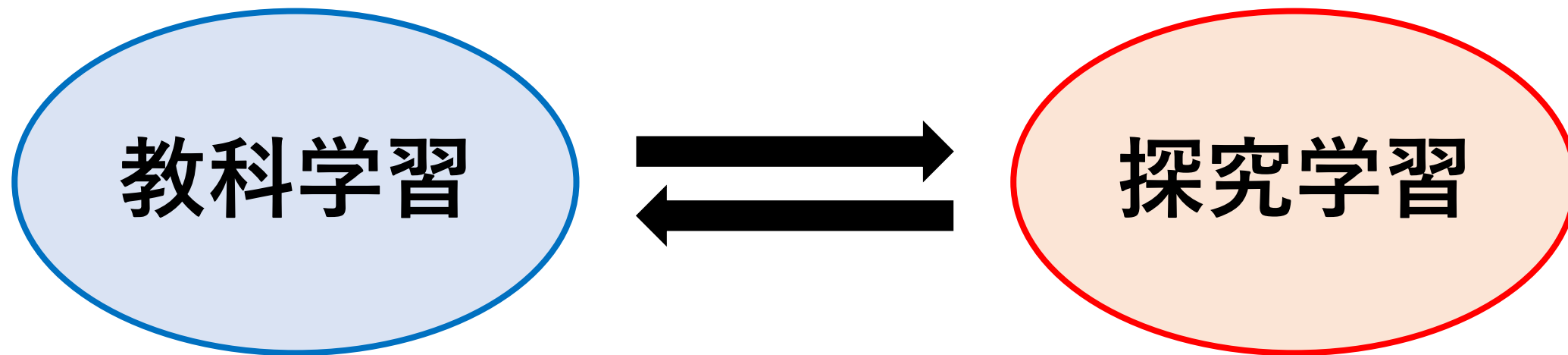
▷ 設定した課題に対して、すでにある答えを
「探し求める」 = 調べ学習

「探究」

▷ 設定した課題に対して、自分たちなりの答えを
「創造(共創)する」

2. 「探究」って何のためにするの？

【学校における2つの「学び」】



◆基本的な「正解」がある◆

- ▷いわゆる「受験学力」
- ▷教科学習だけでは実社会に出たときに対応できない！

◆決まった「正解」はない◆

- ▷実際の社会を題材として他者と協働して「納得解」を共創する

予測不可能な時代 (正解のない時代)

変化のスピードが速く
質・量の変動も大きい
状況

将来何が起こるか
予測できない
状況

さまざまな要素が
複雑に絡み合っている
状況

物事の因果関係が
曖昧になっている
状況

2. 「探究」って何のためにするの？

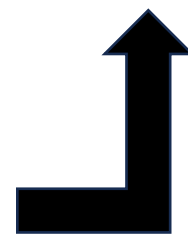
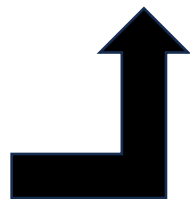
【あなたにとっての意味】

Q.なぜ若狭高校は推薦入試に強いのか？

キャリア意識
の形成

自分の好き・やりたいを
発見！！

探究
学習



3. 本校における「探究」の見通し

探究Ⅲ （週 1 時間）

探究Ⅱ （週 2 時間）

*** 後期には文理にわかれて探究を進めていく予定！**

探究Ⅰ （週 1 時間）

先輩の素敵な探究の紹介！

3－1 宮田あいさ さん

「探究」からはじめるWell-Beingな未来

～探究を通して上中学生の主観的Well-beingが高まるためにはどのようなことが必要か？～

<https://join.myprojects.jp/viewing2025/hub/boothB-1>

探究学習が本格化して早5年・ ・ ・
全国ではいろいろな「探究」が

そんななかで見えてきたのは？

実は・・・

探究にも類型がある?!

①行動系 (action)

課題の設定

→情報収集 (実態調査)

→整理・分析・企画

→行動

→まとめ・表現

= 課題の解決 「HOW」 型

(ex.地域の課題解決のためのイベント実施)

②研究系 (discover)

問いの設定

→情報収集 (先行研究)

→仮説生成

→仮説検証

→まとめ・表現

= 課題の解明 「WHY」 型

(ex. 日常生活で見つけた不思議や疑問の解明)

③創作系 (make)

問いや課題の設定・定義

⇔情報・素材収集

→アイデア出し

→設計・構想・試作

→批評・改善

= 作品作り 「WHAT」 型

(ex. 問の解明や課題解決のための作品づくり)

ここで質問

**Q1. 皆さんが中学校で取り組んできた探究はどのタイプ？
あるいは新しいタイプ？**

Q2. 高校ではどんな探究に挑戦してみたい？

若狭高校の探究のモットー

“楽しくなければ探究じゃない！！”

Q.楽しくなるためには何が必要か？

→ **自分で動いてみる** こと！
勇気を出して何かを始めてみる こと

☆他者や社会とつながる

☆新しい世界を知る

☆世界の見え方が変わる

→こういった経験をしてはじめて探究は「楽しくなる！」

【来週までの課題！】

• wonder mapの作成

自分の興味関心・好き嫌い・日常に関する素朴な疑問から

wonder = 「問い」 をたくさんあげてみよう！！

* ワークシートいっぱいに埋めてくること！

* 次回は課題の共有から始めます！